

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

(別紙1)

平成24年4月19日

協議会・構成員: 宮城県 (被災地特例)

事業名	補助対象事業者等	事業概要	①事業実施の適切性	②目標・効果達成状況	③事業の今後の改善点
陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域間幹線系統) ※H23年度新規路線	(株)ミヤコーバス 三陸線	柳津駅前～ベイサイドアリーナ	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A ルート    ダイヤ    整合性    バス競合    鉄道競合    住民理解 1            1            2            3            1            1	H24.4.1から、JR不通区間(柳津～気仙沼)を運行する系統への統合と増便を行い、利便性向上を図るため、本系統は廃止となる。
陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域間幹線系統) ※H24年度前半	(株)ミヤコーバス No.1 利府線	塩釜営業所～しらかし台	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A ルート    ダイヤ    整合性    バス競合    鉄道競合    住民理解 1            1            1            2            1            2	地方路線としては比較利用が多いが、昼間の利用者増加のため、利府町で高齢者向け利用助成の実証実験を予定(H24年度中)。
	(株)ミヤコーバス No.2 女川線	石巻駅前～女川日水前	C 津波被害により、石巻市立病院が休業中のため。	C ルート    ダイヤ    整合性    バス競合    鉄道競合    住民理解 ▲           ▲           ▲           ▲           ▲           ▲	沿線の門脇地区は津波により大きな被害を受け、石巻市立病院の移転も決定したため、再開の可能性は低い。
	(株)ミヤコーバス No.3 女川線	石巻駅前～女川日水前	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A ルート    ダイヤ    整合性    バス競合    鉄道競合    住民理解 1            3            2            2            3            1	震災により運休中であるJR石巻線渡波～女川間の復旧が進むにあたって、本バス路線と鉄道との関係を整理する必要がある。また、地元自治体から運行時刻の再検討の意見が出されている。
	(株)ミヤコーバス No.4 鮎川線	石巻駅前～鮎川港	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A ルート    ダイヤ    整合性    バス競合    鉄道競合    住民理解 1            1            1            2            2            1	沿線は震災により甚大な被害を受けた地域であり、人口も激減しているが、石巻市中心部と旧牡鹿町を結ぶ幹線系統であり、今後も運行継続する。
	(株)ミヤコーバス No.5 石巻専修大線	石巻駅前～飯野川	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A ルート    ダイヤ    整合性    バス競合    鉄道競合    住民理解 1            1            1            3            1            1	石巻市中心部と旧河北町を結ぶ幹線であり、石巻専修大学の学生輸送も担っている。また、沿線に石巻地区最大の仮設住宅群が建設されたため、被災者の足としても重要である。今後も運行してゆく。
	(株)ミヤコーバス No.6 石巻免許センター線	石巻駅前～石巻駅前	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A ルート    ダイヤ    整合性    バス競合    鉄道競合    住民理解 1            1            1            2            1            1	蛇田地区は震災後商業施設の集積が加速しており、本路線は石巻圏域の住民にとって、生活に欠かせない路線であるため、今後も運行する。
	(株)ミヤコーバス No.7 三陸線	石巻駅前～飯野川	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A ルート    ダイヤ    整合性    バス競合    鉄道競合    住民理解 1            1            2            2            2            1	石巻市中心部と旧河北町を結ぶ幹線輸送、石巻赤十字病院への患者輸送、鹿又駅での列車接続、石巻北高校の学生輸送、道の駅上品の郷への行楽客等、多彩な利用客層を担っており、今後も継続して運行する。
	(株)ミヤコーバス No.8 三陸線	津谷～気仙沼	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A ルート    ダイヤ    整合性    バス競合    鉄道競合    住民理解 1            1            1            1            1            1	JR気仙沼線が不通のため、その振り替え輸送を兼ねており、より重要性を増しているため、大幅に増強して運行している。当面はこの態勢で臨むが、JR線復旧の行方を睨みながら、将来形を検討してゆく必要がある。

事業名	補助対象事業者等	事業概要	①事業実施の適切性	②目標・効果達成状況	③事業の今後の改善点
	(株)ミヤコーバス No.9 御崎線	総合体育館 ～御崎	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A ルート ダイヤ 整合性 バス競合 鉄道競合 住民理解 1 1 1 1 1 1	気仙沼市中心部から唐桑半島方面への唯一の路線である。沿線は震災で大きな被害を受けた地域であり、人口流出により利用者減が今後の懸念材料であるが、当面は運行継続してゆく。
	(株)ミヤコーバス No.10 色麻線	古川駅前 ～色麻町役場	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A ルート ダイヤ 整合性 バス競合 鉄道競合 住民理解 2 3 1 1 2 2	大崎市・加美町・色麻町とを結ぶ路線である。高校や大崎市民病院、大崎市役所付近を通過するなど、利用者にとっては使いやすい路線となっている。朝夕の乗客数が多い時間帯について、地元自治体から増便等の要望がある。新市街地が路線から2kmほど離れた地区に形成されつつあることと、市民病院の移転対策が、今後の課題である。
	(株)ミヤコーバス No.11 白石遠刈田線	白石蔵王駅 ～宮城蔵王ロイヤルホテル	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A ルート ダイヤ 整合性 バス競合 鉄道競合 住民理解 1 1 1 1 1 1	白石市と蔵王町遠刈田温泉を結ぶ幹線であり、通学や観光など高い需要があることから、今後も運行してゆく。
	(株)ミヤコーバス No.12 川崎線	大河原駅前 ～川崎	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A ルート ダイヤ 整合性 バス競合 鉄道競合 住民理解 1 1 1 2 1 1	高校生の通学利用が多い系統であり、通学時間帯の利便性向上に努めながら、今後も運行してゆく。
	(株)ミヤコーバス No.13 川崎線	大河原駅前 ～村田営業所	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A ルート ダイヤ 整合性 バス競合 鉄道競合 住民理解 1 1 1 2 1 1	高校生の通学利用が多い系統であり、通学時間帯の利便性向上に努めながら、今後も運行してゆく。
	(株)ミヤコーバス No.14 河南線	石巻営業所 ～河南総合支所	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A ルート ダイヤ 整合性 バス競合 鉄道競合 住民理解 1 1 1 2 2 1	石巻市中心部からイオン石巻までは利用が多いが、イオン石巻～河南総合支所間は利用が少ないため、今後の運行の在り方について考える必要がある。住民が急増しているしらさぎ台団地を沿線に抱えているため、その住民利用を増やせないか模索することが必要。
	(株)ミヤコーバス No.15 三陸線	柳津駅前 ～ベイサイドアリーナ	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A ルート ダイヤ 整合性 バス競合 鉄道競合 住民理解 4 4 1 1 ▲ 1	H24.4.1から、JR不通区間(柳津～気仙沼)を運行する系統への統合と増便を行い、利便性向上を図るため、本系統は廃止となる。
	(株)ミヤコーバス No.16 三陸線	志津川駅前 ～本吉駅前	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A ルート ダイヤ 整合性 バス競合 鉄道競合 住民理解 4 4 1 1 ▲ 1	H24.4.1から、JR不通区間(柳津～気仙沼)を運行する系統への統合と増便を行い、利便性向上を図るため、本系統は廃止となる。

【各評価項目の評価基準】

①事業実施の適切性

- A…事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された(されている)。
- B…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった(一部実施されない見込み)。
- C…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった(実施されない見込み)。

②目標・効果達成状況

- A…事業が計画に位置付けられた目標を達成した(する見込み)。
- B…事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)。
- C…事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)。

ルート 運行ルートやバス停の位置  
ダイヤ 運行ダイヤ  
整合性 コミュニティバス等地域交通政策との整合性  
バス競合 他の乗合バス路線との競合回避努力  
鉄道競合 鉄軌道との競合回避努力  
住民理解 沿線住民の認識・理解

- 1 非常によい
- 2 概ね良い
- 3 改善の余地がある
- 4 改善の余地が多いにある
- ▲ アセスメント不能

事業名	補助対象 事業者等	事業概要	①事業実施の適切性	②目標・効果達成状況	③事業の今後の改善点
-----	--------------	------	-----------	------------	------------